

農場通信 2025年 3月号

2025/2/25

トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！


① 圃場 ハウス ② 試験内容


③ 開始日 ④ 終了予定

① 第4 A ② ココバッグ栽培展示 バッグ比較試験 ③ 2024/9/9 ④ 2025/7月末


品目	圃場写真①	圃場写真②
<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="background-color: #90EE90; width: 10px; height: 10px; margin-bottom: 2px;"></div> 栽培中 <div style="background-color: #D3D3D3; width: 10px; height: 10px; margin-bottom: 2px;"></div> 栽培準備中 <div style="background-color: #F08080; width: 10px; height: 10px; margin-bottom: 2px;"></div> 今月最終 </div>		
直近の環境データ・管理方法(晴天日) ※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています	今月の状況 と 今後の管理	

大玉トマト





【2/20 環境状況】





ココバッグ栽培の展示ハウスになります。通常タイプのココバッグと、ココバッグ「ミニ」の比較試験を行います。品種は桃太郎ホープ(台木:アシスト) 9/9定植。日射量が急激に増加し、日中の換気量が多くなるため温度・湿度が急変しやすく、年間で最も換気管理に気を遣う時期です。日の出から午前中は強めに換気を行い、植物を外気に馴らすことで春以降の萎れが軽減できます。現状、草勢は強い状況を持っています。

① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験

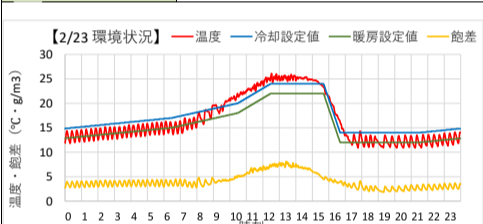
③ 2024/7/29 ④ 2025/6月

ミニトマト





【2/23 環境状況】





ミニトマト20品種の比較試験を行っています。日中24℃前後、夜間13℃前後で株あたり1800ml、給液ECは2.3で灌水管理。一部の品種で裂果や裂皮が増えてきました。糖度は7~8となっており1月に比べ高くなっています。

① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験

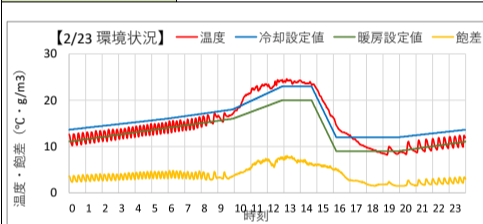
③ 2024/7/29 ④ 2025/6月

大玉トマト






【2/23 環境状況】




日中24℃前後、EC2.3 株あたり1300mlで灌水しています。18-20段目が開花しています。少しずつ管理温度を上げて、春に向けて栽培を続けていきます。

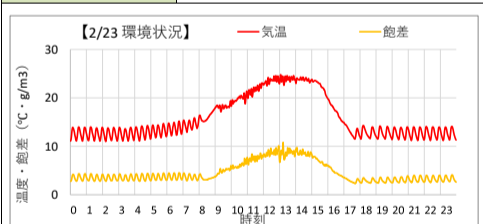
① 第4 D ② バリエーティートマト品種比較試験 ③ 2024/7/25 ④ 2025/4月

バリエーティートマト





【2/23 環境状況】





日中24℃前後、EC2.3 株あたり1800mlで灌水しています。18-21段目が開花しています。着果負担による庄勢の低下は、回復しました。

① 第4 E ② イチゴ栽培試験

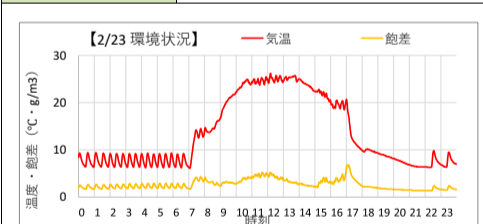
③ 2024/7/23 ④ 2025/6月

イチゴ





【2/23 環境状況】





本葉5~6枚、株250cc給液、給液EC0.6で管理。摘果、摘花は果房あたり7果になるようにしています。すべての品種で収穫ができるようになりました。12月頃にできたチップバーンの影響で現在収穫中の果実にガク焼けが発生しています。すずの葉が黄化していたため、葉面散布を行いました。

① 第4 J ② ココバッグ養液栽培試験 品種比較試験

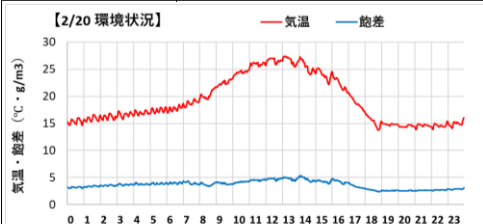
③ 2024/10/2 ④ 2025/4月末

キュウリ






【2/20 環境状況】




10/2に定植しました。今作はココバッグを使った養液栽培に適する品種比較試験ということで、穂木品種8種類・台木品種4種類を栽培します。2月後半以降、芽先がやや詰まった感じになってきました。日射量に対し温度がやや低いと思われるので、夜間の温度を全体的に少し上げて素直に伸びるようにしていきます。基準品種の収量は昨年とほぼ同じ。品種により収量差が出ています。今作は4月中旬で一度改植を行う計画です。

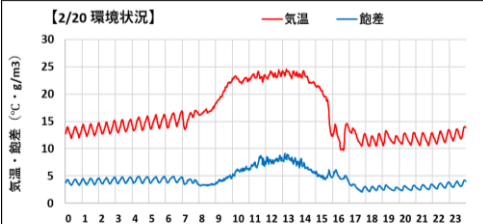
① 第4 I ② 高糖度ミニトマト品種比較試験 ③ 2024/8/30 ④ 2025/7/1

高糖度ミニトマト





【2/20 環境状況】



ミニトマトの高糖度栽培での品種比較試験を行います。培地はココバッグ、肥料はオリジナルの高糖度用単肥処方を使用します。1月まではEC5.0での管理でしたが、しっかりストレスのかかった樹姿になっているため、春に向けて3.5程度まで徐々にECを下げていきます。糖度は品種により差がありますが概ね9~10程度、収量も2月末までで1反換算で約7-8トン程度と順調です。





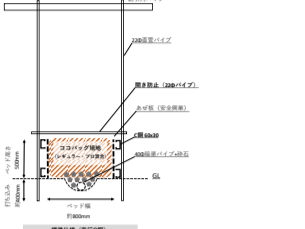
豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp




① 第6 ② キャベツ品種比較試験 ③ 2024/8月~ ④ 2024/11月~

キャベツ	 
<p>【作型一覧】 冬系1作目 7月26日播種 8月18日定植 冬系2作目 8月1日播種 8月27日定植 冬系3作目 8月8日播種 9月6日定植 冬系4作目 8月20日播種 9月14日定植 冬系5作目 8月23日播種 9月17日定植 春系1作目 8月23日播種 9月17日定植</p>	<p>冬系5作型 春系1作型（詳細は左記のとおり）</p> <p>1作目・2作目が高温と大雨により初期生育不良となり、収穫が大幅に遅れ、全体的に不出来となりました。特に台風直前の定植となった2作目が不良。3作目も初期が高温だったため、昨年よりもやや不良、4作目を以降は比較的順調です。12月以降は降雨が極端に少なく、寒さと乾燥でやや生育が遅れています。適宜灌水と追肥を行い玉肥大を促していきます。</p>

① 第3 M ② アスパラガス柵板式高畝栽培試験 ③ 2023/6/2 ④ 周年

アスパラガス	 
	<p>アスパラの「柵板式高畝栽培」の実証試験。2023年初夏に定植、2024年春から収穫開始。柵板で隔離したベッドにココバグの中身を入れて養液栽培をします。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類栽培しています。</p> <p>2月中旬から萌芽が始まり、2年目の収穫が始まりました。3月上旬頃までは全て収穫し、その後は数本を立茎させていきます。</p>

① 第8 ② 『持続可能な施設園芸』実証試験 ③ 2024/9/2 ④ 2025/7月末

大玉トマト	 
<p>【2/20 環境状況】</p>  <p>気温 (赤線) 飽差 (青線)</p>	<p>サステナブル・グリーンハウス『持続可能な施設園芸』実証試験として、減農薬・肥料削減・脱炭素を目標とした各種取り組みを行います。</p> <p>減農薬⇒天敵・防虫ネット・捕虫シート等々を組み合わせたIPM 肥料削減⇒排液リサイクルシステムを使った栽培実証 脱炭素⇒暖房の排ガスからCO2を分離して再利用</p> <p>定植は9/2に行いました。品種は「かれん」になります。ここまでの、排液はほぼ全量を再利用、CO2は暖房排気ガスから回収した分で400ppm程度を維持、コナジラミはほとんど見かけない状況で、生育は概ね順調です。今後は給液量や換気量が一気に変わってくるので、萎れに注意して管理をしていきます。</p>

① 第7ハウス ② 産直向け品目 ③ 2024/10月中旬 ④ 2025/03頃

産直品目	 
<p>10月中旬より定植と播種を行いました 12月初旬に葉物については再播種を行いました</p>	<p>栽培は、今月上旬までとなります。 ビーツや、セロリ、わさび菜、キャベツなどを栽培中。</p>

① 第2 ② ブロッコリー品種比較試験 ③ 2024/9月上旬 ④

ブロッコリー	 
<p>4作目 8月25日播種 9月20日定植 5作目 8月30日播種 9月25日定植 6作目 9月10日播種 10月5日収穫 7作目 9月20日播種 10月17日定植</p>	<p>現在、5-6作で収穫を行っています。</p> <p>2月中旬の低温により、生育が遅れています。2月下旬から最高気温も上がるということで、生育が進むことを予しています。</p>



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
 愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
 URL <https://www.toyotane.co.jp/>
 E-mail info@toyotane.co.jp